

バッテリー交換時の注意事項:トヨタ アルファード、ヴェルファイアHV (2015年1月～)

車種名	排気量 (cc)	車両型式	エンジン 型式	年式	仕様	標準 バッテリー	GY 互換品
アルファードHV	2500cc	DAA-AYH30W	2AR-FXE	2015/1～	4WD	LN2	ENJ-375LN2
ヴェルファイアHV	2500cc	DAA-AYH30W	2AR-FXE	2015/1～	4WD	LN2	ENJ-375LN2

⚠ 注意事項

- i : 補機バッテリーターミナル切り離し時または補機バッテリー上がりが発生した場合にREADY ONできない場合がある。その場合、IG OFF状態で、一度、運転席のドアを開閉すると正常復帰する。
- ii : 補機バッテリーを交換する場合、新車搭載品と同一のケースサイズ、51Ah以上の20時間率容量(20HR)および一括排気タイプの補機バッテリーを使用する。
- iii : 補機バッテリー交換後、劣化した補機バッテリーについている排気穴栓、もしくは新品の補機バッテリーに付属している排気穴栓を、バッテリーホースを接続しない側の排気穴に取り付ける。

◎ バッテリー交換前に

- i : 補機バッテリーマイナスターミナルを脱着する場合は、IG OFFおよびライティングスイッチをOFFにしターミナルを直接締め付けているナットを完全にゆるめて、こじらないように行う。
- ii : 補機バッテリーマイナスターミナルを切り離すと、時計およびダイアグコードなどのメモリーが消去するので、事前に内容を確認する。
- iii : ナビゲーションシステムはIG OFF後、各種メモリーおよび設定の記憶などを行う。このため、必ずIG OFF後、1分が経過してからバッテリーマイナスターミナルを切り離す。



外観写真



バッテリー搭載位置

1. バッテリー交換手順

◎ バッテリーの取り外し

デッキサイドトリムカバーLH取り外す。
ツメのかん合  10箇所を外す。
ガイドのかん合  2箇所を外し、デッキサイドトリムカバーLHを取り外す。

ナットをゆるめ、補機バッテリーマイナスターミナルを補機バッテリーから切り離す。

バッテリーターミナルコネクタカバーを開く。
ナットをゆるめ、補機バッテリープラスターミナルを補機バッテリーから切り離す。

ナットを外し、バッテリー固定ボルトを取り外す。

バッテリーホースを補機バッテリーから切り離す。

バッテリー固定金具を持ち上げ、バッテリークランプNo.4で固定する。

バッテリーを取り外す。

インシュレータ(バッテリーカバー)を補機バッテリーから取り外す。

◎ バッテリーの取り付け

インシュレータ(バッテリーカバー)を補機バッテリーに取り付ける。

補機バッテリーをトレーにセットする。

バッテリーホースを補機バッテリーに接続する。
・バッテリーホースを補機バッテリーへ確実に差し込む。
・バッテリーホースに折れ、ねじれがないように取り付ける。

バッテリー固定ボルトを取り付ける。

バッテリー固定金具をバッテリークランプNo.4から切り離す。

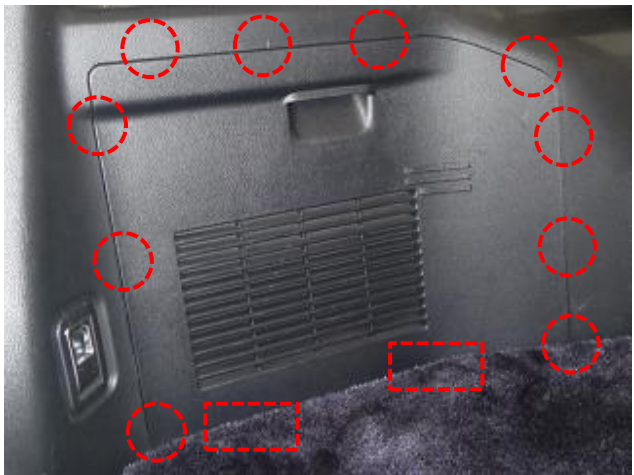
ナットでバッテリー固定金具と固定ボルトを取り付ける。
ナット締め付けトルク: T=4.9N・m

補機バッテリープラスターミナルを補機バッテリーに接続し、ナットを締め付ける。
ナット締め付けトルク: T=5.4N・m

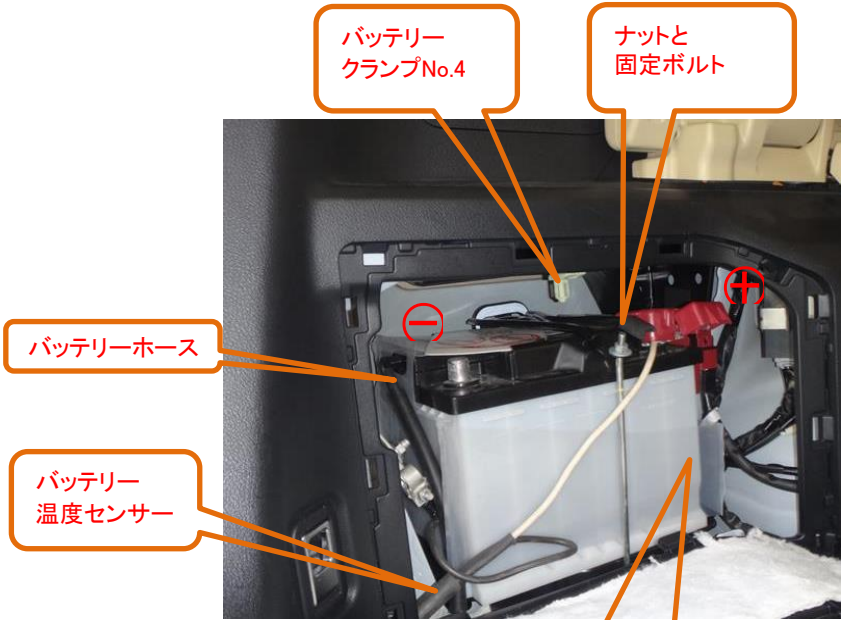
バッテリーターミナルコネクタカバーを閉じる。

補機バッテリーマイナスターミナルを補機バッテリーに接続し、ナットを締め付ける。
ナット締め付けトルク: T=5.4N・m

デッキサイドトリムカバーLH取り付ける。
ガイドのかん合  2箇所をかん合する。
ツメ  10箇所をかん合させ、デッキサイドトリムカバーLHを取り付ける。



デッキサイドトリムカバーLH



補機バッテリー周辺写真

インシュレータ
(セロハンのような、透明のバッテリーカバーがある)



インシュレータ

2. バッテリーターミナル脱着後の設定作業(初期化)

☆ 周辺監視モニター バックガイドモニターシステムの初期化

モニター画面に『システム初期化中』が表示された場合、ステアリングセンサ舵角中立点記憶を行う。

◆初期化:ステアリングセンサ舵角中立点記憶

平坦路にて左右両側にステアリングホイールをいっぱいに切ると舵角中立点が記憶される。

参考

ステアリングホイールを左右いっぱいに切っても舵角中立点が記憶できない場合は、登録設定の舵角調整を行い記憶させる。

* 以下のシステムが動作しない場合もステアリングセンサ舵角中立点記憶を行う必要がある。

- ・インテリジェントクリアランスソナーシステム
- ・インテリジェントパーキングアシストシステム
- ・パノラマミックビューモニターシステム

☆ バックドアオープナの初期化

◆初期化:マルチプレックスネットワークマスタスイッチASSYのドアコントロールスイッチ(マニュアル作動用)、エレクトリカルキートランスミッタSUB-ASSY(電子キー)によるドアアンドロック操作をする。

☆ パワースライドドアの初期化

補機バッテリーを切り離した場合、ワイヤハーネスおよびスライドドアモータユニットを交換または脱着した場合やECU-B No.1ヒューズを交換または脱着した場合は、パワースライドドアシステムの初期化が必要となる。初期化を行わないとパワースライドドアシステムが動作しない。

◆初期化

初期化手順:スライドドアを一度、手動で全閉にする。

参考:スライドドアを閉じたままバッテリーを切り離した場合は不要。

☆ バックドアモータユニットの初期化

バックドアが開いた状態で以下の作業を行った場合にバックドアモータユニットの初期化が必要となる。

- ・バックドアを開いた状態でバッテリーマイナスターミナルを接続した場合
- ・パワーバックドアシステムの電源系ヒューズを取り外した後に再度取付けた時
- ・バックドアモータユニットの交換またはコネクターの切り離しを行った時

◎初期化

初期化手順:手動でバックドアを全閉する。

参考:バックドアを閉じた状態で、作業を行った場合は初期化は不要。

☆ サーボモータの初期化

- 1)GTS(ダイヤグテスタ)をDLC3コネクタに接続する。
- 2)ブローOFFスイッチを押し、すべての機能を停止状態にする。
- 3)GTS(ダイヤグテスタ)を使用して、画面を『A/C』⇒『作業サポート』⇒『サーボモータ初期化』⇒実行。
- 4)画面指示に従って作業を完了する。

参考:初期化中はAUTOスイッチが点灯し、作業終了すると消灯する。

《ご注意》

本資料は、自動車メーカーの整備マニュアル情報などを元に作成しています。但し、有効な手段としてご紹介している資料のため、本資料記載の方法で何らかの問題が発生した場合、弊社では責任は負いかねます。尚、問題が改善されない場合は、カーディーラーなどにご相談をお勧めします。